



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和4年 9月号

ヨハネスブルグ日本人学校

スローガン「全力 協力 熱く輝け JSJ」に向かって全力で戦いました



当日は、晴天を乗り越えて、暑さが厳しい天気になりました。昨年は、コロナ禍の影響により実施時間や種目数を減らして取り組んでいましたが、今年の運動会は、以前と同等の開催規模で実施ができました。日本人会の方々にも多数参加頂き、現地校で学んでいる子供たちも多くの種目に参加してくれました。給水や体調管理が必要な中、校庭には、子供たちの真剣な姿、その活躍を応援して下さる方々の声援が溢れていました。



当日には、大変お忙しい中、在南ア日本国大使館 丸山大使閣下、根本領事殿、日本人会会長 生田様、同幹事 清水様をはじめ多くのご来賓の方々にご参会いただきました。

力

今年の運動会では、スローガンに対して、『一つ目は、最後まで諦めずに「やりきる」こと。



二つ目は、仲間と協力して「助け合う」こと。三つ目は、互いに「学び合う」こと』を校長から話しました。

最後まで練習の成果を発揮し、多くの種目で助け合うことで一層伯仲した素晴らしい競技になりました。また、一人では出来ないことも仲間と力を合わせることで、子供たちの体から湧き上がる力が大きく膨らみ、JSJ の子供たち、現地校の子供たち、南アにいらっしゃる日本人会の方々との一体感のあるキラキラ輝く姿があちらこちらにありました。



学校の規模で言えば、世界にある日本人学校の中でもとても小さい JSJ ではありますが、一生懸命に運動会の練習や準備に取り組み、その成果を精一杯に発揮し、運動会の大きな目標を達成できました。

保護者の方々には、多くのアンケートを頂戴しました。良かった点をたくさん褒めて頂き、次年度の改善に向けたご意見も頂きました。次年度に向け、よりよい運動会となるように努めていきます。

第3回避難訓練（不審者対応）を行いました

学校における防犯対策で大切なことは、何より「子供たちの安全確保」です。そのためには、実践的な防犯訓練の必要があり、実際に不審者が侵入した際に教職員はどのように行動するか、子供たちをいかに安全な場所へ避難させるか、子供たち自身が主体的に適切な避難行動がとれるかなど、重要なことは数多くあります。



JSJ の危機管理対策マニュアルを毎年見直しても、不測の事態が発生した場合にはマニュアルの通りに行動できないことも予想されます。万一の事態が発生した際にも行動できるよう、実践的な防犯訓練を行う必要があるといえるでしょう。

不審者の侵入を想定した放送（拡声器）のあと、子供たちは1分程度の極めて短い時間で避難ができていました。在南ア日本国大使館の森田警備対策官様からご講評いただき、子供たちからの多くの質問にも答えていただきました。

担当の先生より、避難場所である特別教室は、特に不審者が侵入しようとしても鉄製の頑丈なバーグラと扉でできていることの説明も受けました。

避難訓練の合言葉としてよく言われることですが、「訓練は本番のように、本番は訓練のように」を繰り返しながら、今後の避難訓練でも、速やかに避難ができるよう、自分の命を守る力を高めていきます。